

I 第32週の発生動向 (2011/8/8~2011/8/14)

- 手足口病については、むつ保健所管内において新たに**警報**が発令され、東地方+青森市保健所、八戸保健所、五所川原保健所及び上十三保健所管内においては第31週から、弘前保健所管内においては第26週から、**警報**が継続しています。
- 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内において新たに**警報**が発令され、上十三保健所管内においては第27週から**警報**が継続しています。

II 第32週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 内科 (85) インフルエンザ															-1				
(74) RSウイルス感染症	2	0.2	4	0.4									6	0.2	-6			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱	5	0.6	4	0.4	1	0.1			2	0.3			12	0.3	2	2	2.0	3	0.4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.4	1	0.1	3	0.4			2	0.3			10	0.3	0			4	0.5
(77) 感染性胃腸炎	10	1.1	8	0.9	4	0.5	1	0.2			7	2.3	30	0.8	-7	6	6.0	4	0.5
(78) 水痘	4	0.4	2	0.2	2	0.3	1	0.2	4	0.7	10	3.3	23	0.6	5			4	0.5
(79) 手足口病	76	8.4	143	15.9	147	18.4	37	7.4	72	12.0	16	5.3	491	12.3	72	2	2.0	74	9.3
(80) 伝染性紅斑	5	0.6			3	0.4			4	0.7			12	0.3	4	1	1.0	4	0.5
(81) 突発性発しん	10	1.1	4	0.4	3	0.4	1	0.2	5	0.8	1	0.3	24	0.6	0	2	2.0	8	1.0
(82) 百日咳					1	0.1							1	0.0	1				
(83) ヘルパンギーナ	34	3.8	23	2.6	3	0.4	3	0.6	22	3.7	4	1.3	89	2.2	46	8	8.0	26	3.3
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.0	1	0.1	7	0.9			31	5.2	22	7.3	70	1.8	23			9	1.1
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			3	1.5	4	4.0	1	0.5			9	0.8	6			1	0.5
(92) クラミジア肺炎															0				
基幹 (93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					8	8.0					1	1.0	9	1.5	4				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市2人、八戸2人、上十三1人 (23年計:259人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

・感染症発生動向調査における病原体検索により、以下のウイルスが検出されています。

- 呼吸器疾患12名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、6/28~7/27)・・・RSウイルス：弘前(7)、ライノウイルス：弘前(3)、ヒトボカウイルス：弘前(1)、ヒトボカウイルス及びRSウイルス：弘前(1)
- 呼吸器疾患、胃腸炎患者3名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、7/5~7/27)・・・RSウイルス：弘前(2)、ヒトボカウイルス：弘前(1)
- ヘルパンギーナ患者1名(咽頭ぬぐい液、6/24)・・・ライノウイルス：弘前
- ヘルパンギーナ、呼吸器疾患1名(咽頭ぬぐい液、7/11)・・・RSウイルス：弘前

感染症の窓

RSウイルス感染症 (五類定点把握疾患)

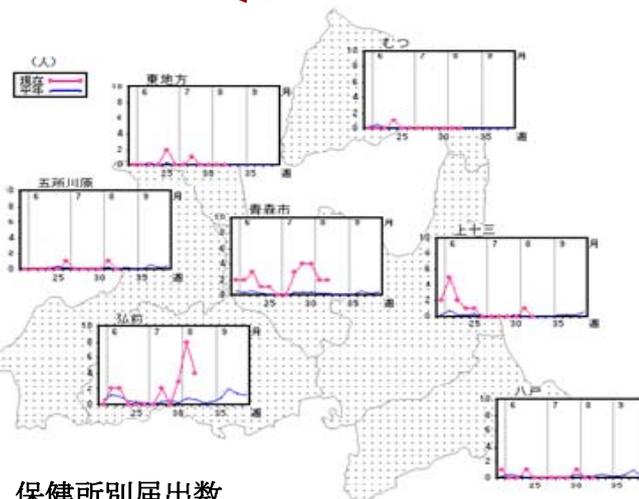


図 保健所別届出数

RSウイルス(respiratory syncytial virus)は世界的に分布し、RSウイルス感染症は、温帯地方では冬季に、熱帯地方では雨期に流行を繰り返します。乳幼児は、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%が初期感染を受けます。潜伏期間3~5日で、症状は、発熱、鼻水、咳の上気道症状が2~3日続き、感染が下気道特に細気管支に及ぶと咳の増強、呼吸性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などの呼吸困難が現れます。新生児では無呼吸となることもあり注意が必要です。感染経路は、鼻汁、喀痰などが手指、器物を介する接触感染、または飛沫感染です。(「感染症の診断・治療ガイドライン2004 日本医師会監修」参考)

県内の保健所管内では、青森市と弘前で平年(過去10年間の平均)よりも届出数が多くなっています(図)。

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）

単位：人 2011年第12週～第31週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H23.3.21 ~ H23.3.27						
13	H23.3.28 ~ H23.4.3						
14	H23.4.4 ~ H23.4.10						
15	H23.4.11 ~ H23.4.17			アメーバ赤痢1人		麻しん1人	
16	H23.4.18 ~ H23.4.24						
17	H23.4.25 ~ H23.5.1			レジオネラ症1人			
18	H23.5.2 ~ H23.5.8						
19	H23.5.9 ~ H23.5.15	つつが虫病1人					
20	H23.5.16 ~ H23.5.22				つつが虫病1人		
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	麻しん1人 つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	麻しん1人	梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	レジオネラ症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31		腸管出血性大腸菌感染症3人 後天性免疫不全症候群1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
31	H23.8.1 ~ H23.8.7						

VII 結核（二類全数把握疾患）

単位：人 2011年第12週～第31週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H23.3.21 ~ H23.3.27		1	1			
13	H23.3.28 ~ H23.4.3	1	2	2		1	
14	H23.4.4 ~ H23.4.10	2	2	6	1	2	
15	H23.4.11 ~ H23.4.17	1	2	4	1		
16	H23.4.18 ~ H23.4.24	4		4	3		
17	H23.4.25 ~ H23.5.1	1	1		1		
18	H23.5.2 ~ H23.5.8	1	1	1	2		
19	H23.5.9 ~ H23.5.15		2	2	3	1	
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	8	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		3	10		6	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	1		10	1	3	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24	1	1	3		4	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31	1	1	3	2		3
31	H23.8.1 ~ H23.8.7	2		2	2	5	

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

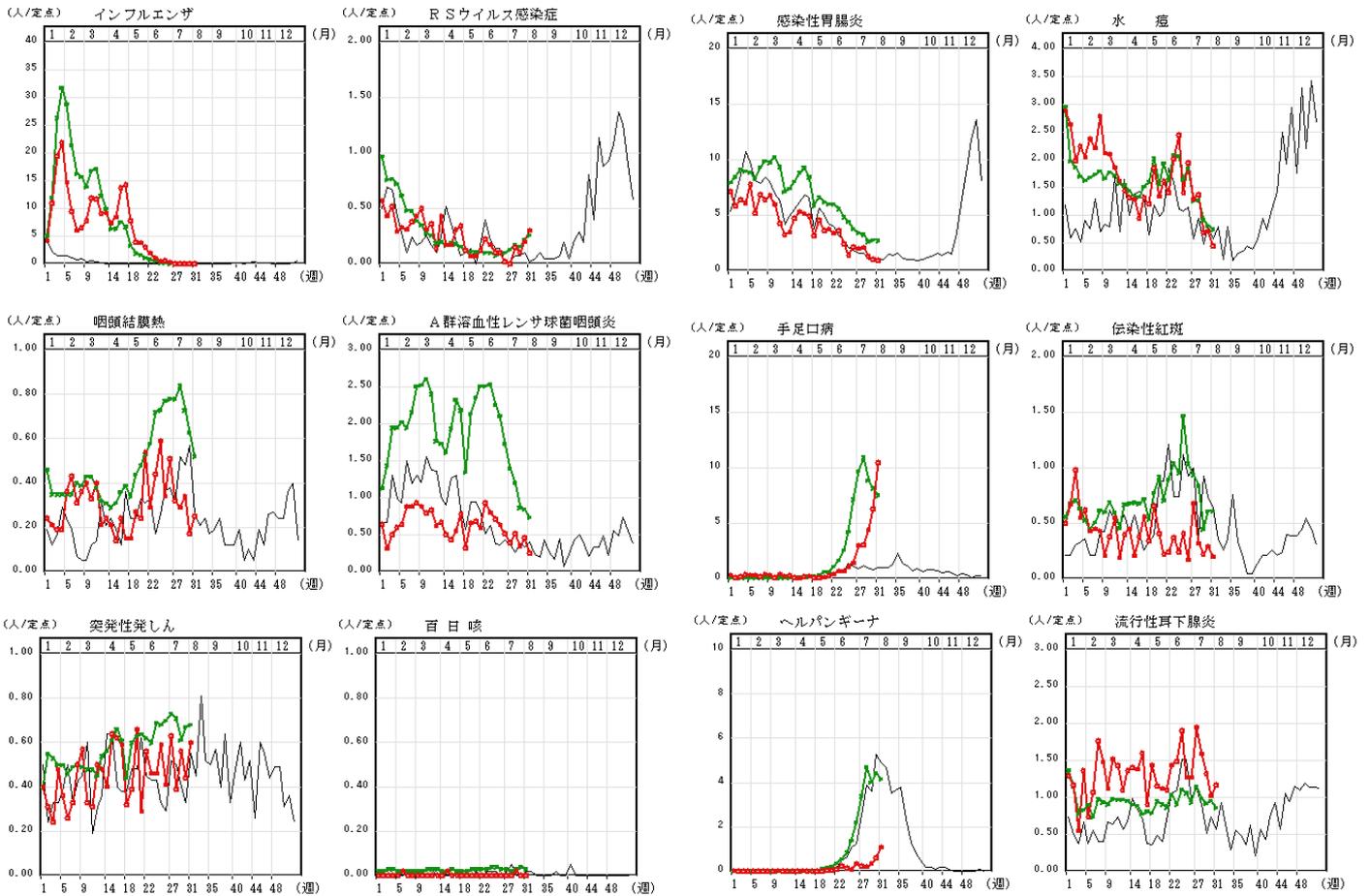
2011年8月16日9時集計速報値

	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイテス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリス症	マラリア	ライム病
全国	1	18026	5	121	2284	14	17	39	141	12	11	2	5	160	57	57	2	3	42	5
青森県	0	255	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん			
全国	422	5	477	159	187	6	74	143	864	42	7	1	459	68	32	284	387			
青森県	2	0	1	0	2	0	1	2	2	0	0	0	5	2	1	0	3			

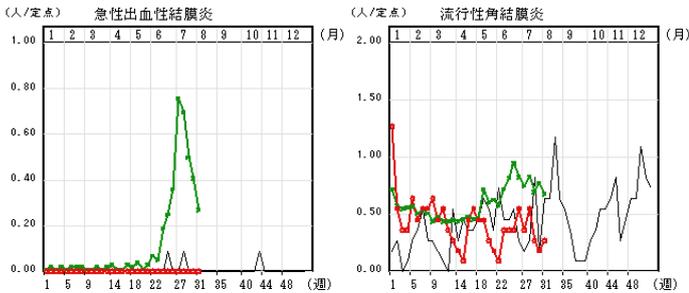
グラフの説明 ○—○は2011年青森県、——は2010年青森県、○—○は2011年全国

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2011年第31週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2011年第31週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2011年第31週

